

報告資料（１）

令和６年１０月２４日
都立学校教育部

請願について

夜間定時制課程の閉課程に関する請願について、下記のとおり報告する。

記

１ 立川高校定時制の募集停止予告の撤回と小山台高校定時制の存続を求める請願署名

（１）請願者

小山台高校定時制の廃校に反対する会
都立立川高等学校芙蓉会（定時制同窓会）
立川高校定時制の廃校に反対する会
代表 椎野 彰夫 様

（２）請願事項

立川高校定時制の募集停止予告を撤回し、小山台高校定時制・立川高校定時制を存続させてください。

（３）請願理由

東京都は昨年１０月、立川高校定時制の生徒募集を今年限りにする予告を行いました。同校は創立８７年の伝統校で、現在約１６０人の生徒が学んでいます。多摩地域の中心に位置し、夜間定時制の普通科では最大規模の学校です。募集停止となれば、今春入学した生徒が卒業すると廃止になります。小山台高校定時制は、外国につながる生徒が多く入学し、長く「多文化共生の教育」を積み重ねてきました。両校とも、他校では代替できない優れた教育活動をおこない、東京都も高く評価してきました。

誰でも、何歳でも、少人数で学べる夜間定時制高校は、都民の貴重な財産です。昼間働いている生徒や高校を中退した生徒、夜間中学の卒業生、若いときに学ぶ機会を逸した人、外国につながる生徒など、多様な学びのセーフティネットの役割を果たしています。立川高校定時制、小山台高校定時制の廃止計画（閉課程）を中止し、両校定時制の存続を求めます。

（４）受理日

令和６年５月２１日及び令和６年９月２５日

２ 都立夜間定時制高校７校（立川、小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業）の募集停止計画の撤回を！

(1) 請願者

小山台高校定時制の廃校に反対する会
都立立川高等学校芙蓉会（定時制同窓会）
立川高校定時制の廃校に反対する会
代表 椎野 彰夫 様

(2) 請願事項

都立夜間定時制高校 7 校（立川、小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業）の募集停止計画を撤回すること。

(3) 請願理由

本年（2024年）8月22日の教育委員会において、東京都教育委員会は困難を抱える生徒に対する支援の取り組みとして「都立高校におけるチャレンジサポートプラン（案）」を公表し、その中で「困難を抱える生徒の受入環境の充実」のために、立川高校、小山台高校に加えて、新たに5校の夜間定時制の生徒募集を停止にする方針を明らかにしました。

新たに募集停止の対象となったのは、桜町高校（世田谷区）、大山高校（板橋区）、北豊島工科高校（板橋区）、蔵前工科高校（台東区）、葛飾商業高校（葛飾区）の5校の夜間定時制です。

募集停止にする理由として「極端な小規模化により学習環境に課題が生じている一部の夜間定時制課程を募集停止し、生徒を適切な環境で受入れ」などといったますが、小規模校であるからこそきめ細かな教育が出来るなど、小規模校のよさについては考慮していません。

困難を抱える生徒の救済策として、困難を抱える生徒の教育を行っている夜間定時制高校の募集停止をすることは許されません。上記7校の夜間定時制高校の募集停止の撤回を求めます。

(4) 受理日

令和6年9月25日

3 回答

別紙のとおり

(事務局案)

別紙

6 教学高第 1 8 4 8 号
令和 6 年 1 0 月 日

小山台高校定時制の廃校に反対する会
都立立川高等学校芙蓉会（定時制同窓会）
立川高校定時制の廃校に反対する会

代 表 椎 野 彰 夫 様

東 京 都 教 育 委 員 会

請 願 に つ い て （ 回 答 ）

令和 6 年 5 月 2 1 日及び令和 6 年 9 月 2 5 日付けで提出された「立川高校定時制の募集停止予告の撤回と小山台高校定時制の存続を求める請願署名」並びに令和 6 年 9 月 2 5 日付けで提出された「都立夜間定時制高校 7 校（立川、小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業）の募集停止計画の撤回を」について、下記のとおり回答します。

記

東京都教育委員会が、都立高校に通う困難を抱える生徒を支援するための総合的な計画として令和 6 年 1 0 月 2 4 日に策定した「都立高校におけるチャレンジサポートプラン」では、立川高校夜間定時制課程については令和 7 年度、小山台高校、桜町高校、大山高校、北豊島工科高校、蔵前工科高校及び葛飾商業高校の夜間定時制課程については令和 8 年度に生徒募集を停止することとしています。

【生徒募集を停止する理由】

従来、夜間定時制課程の高校は、昼間に学校に通うことができない勤労青少年の学びの場となってきました。しかし今日では、学習習慣や生活習慣等に課題がある生徒や、小・中学校時代に不登校を経験した生徒、外国人の生徒など、多様な生徒が在籍するようになっている一方で、勤労青少年については、夜間定時制課程に進学した生徒に占める割合が昭和 4 0 年度の 8 8. 3 %から大きく低下し、在籍生徒に占める割合は令和 5 年度には約 3 %になっています。

学級規模の極端な小規模化が進んだ学校では、ホームルーム活動や学校行事などの特別活動が低調となり、集団活動を通じた教育効果も十分に得られないことが懸念されます。

このため、困難を抱える生徒の受入環境の充実に向けて、自分のライフスタイルに合わせて午前・午後・夜間の三つの部から選んで入学し、自分のペースで学べ、少人数指導も実施し、相談体制も充実しているチャレンジスクールの規模拡大等を図りつ

つ、一部の夜間定時制課程については生徒募集を停止し、生徒を適切な環境の学校で受け入れていくこととしました。

なお、現在、夜間定時制課程は41校で開設しており、チャレンジサポートプランでは立川高校、小山台高校、桜町高校、大山高校、北豊島工科高校、蔵前工科高校及び葛飾商業高校の7校の夜間定時制課程で生徒募集を停止することとし、その他の夜間定時制課程については、引き続き生徒の学びを支援していくこととしています。

立川高校定時制の募集停止予告の撤回と 小山台高校定時制の存続を求める請願署名

東京都教育委員会教育長 浜 信葉子 様

■ 請願項目 ■

- 1・立川高校定時制の募集停止予告を撤回し、小山台高校定時制・立川高校定時制を存続させてください

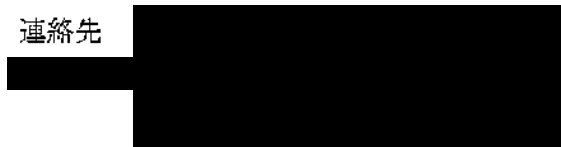
2024年5月21日

小山台高校定時制の廃校に反対する会
都立立川高等学校芙蓉会(定時制同窓会)
立川高校定時制の廃校に反対する会

代表 椎野彰夫

都立立川高等学校芙蓉会(定時制同窓会) 副会長

連絡先



第一次分

7,323 筆

(紙の署名) 6,310 筆

(ネット署名) 1,013 筆



2024年署名 夜間定時制高校をつぶさないで！

立川高校定時制の募集停止予告の撤回と 小山台高校定時制の存続を

東京都教育委員会教育長 浜 佳葉子 様

(請願項目)

立川高校定時制の募集停止予告を撤回し、小山台高校定時制・立川高校定時制を存続させること。

(請願理由)

東京都は昨年10月、立川高校定時制の生徒募集を今年限りにする予告を行いました。同校は創立87年の伝統校で、現在約160人の生徒が学んでいます。多摩地域の中心に位置し、夜間定時制の普通科では最大規模の学校です。募集停止となれば、今春入学した生徒が卒業すると廃止になります。小山台高校定時制は、外国につながる生徒が多く入学し、長く「多文化共生の教育」を積み重ねてきました。両校とも、他校では代替できない優れた教育活動をおこない、東京都も高く評価してきました。

誰でも、何歳でも、少人数で学べる夜間定時制高校は、都民の貴重な財産です。昼間働いている生徒や高校を中退した生徒、夜間中学の卒業生、若いときに学ぶ機会を逸した人、外国につながる生徒など、多様な学びのセーフティネットの役割を果たしています。立川高校定時制、小山台高校定時制の廃止計画（閉課程）を中止し、両校定時制の存続を求めます。

名 前	住 所
[Redacted]	

*上記個人情報は、署名提出以外の目的に使用しません。

***締切り5月末** (最終8月末)

〈取扱い団体〉

小山台高校定時制の廃校に反対する会

東京都立立川高等学校芙蓉会(定時制同窓会)

立川高校定時制の廃校に反対する会

*署名の送付先

私たちは毎年、署名を集めています。2023年は12,000筆以上を集め、都教育委員会に提出しました。今まで署名した人も、今年の署名をお願いします。

立川高校定時制の募集停止予告の撤回と 小山台高校定時制の存続を求める請願署名

東京都教育委員会教育長 浜 佳葉子 様

■請願項目■

- 1 立川高校定時制の募集停止予告を撤回し、小山台高校定時制・立川高校定時制を存続させること。

2024年9月25日

小山台高校定時制の廃校に反対する会
都立立川高等学校芙蓉会(定時制同窓会)
立川高校定時制の廃校に反対する会
代表 椎野彰夫(定時制同窓会副会長)

連絡先

第二次分 7,966 筆

(紙の署名) 7,657 筆

(オンライン署名) 309 筆

*5月21日に第一次分として7,322筆(紙署名 6,310筆)(オンライン署名 1,012筆)を提出しています。

累計 15,288 筆

(紙の署名) 13,967 筆

(オンライン署名) 1,321 筆





2024年署名 夜間定時制高校をつぶさないで！
**立川高校定時制の募集停止予告の撤回と
小山台高校定時制の存続を**

東京都教育委員会教育長 浜 佳葉子 様

(請願項目)

立川高校定時制の募集停止予告を撤回し、小山台高校定時制・立川高校定時制を存続させること。

(請願理由)

東京都は昨年10月、立川高校定時制の生徒募集を今年限りにする予告を行いました。同校は創立87年の伝統校で、現在約160人の生徒が学んでいます。多摩地域の中心に位置し、夜間定時制の普通科では最大規模の学校です。募集停止となれば、今春入学した生徒が卒業すると廃止になります。小山台高校定時制は、外国につながる生徒が多く入学し、長く「多文化共生の教育」を積み重ねてきました。両校とも、他校では代替できない優れた教育活動をおこない、東京都も高く評価してきました。

誰でも、何歳でも、少人数で学べる夜間定時制高校は、都民の貴重な財産です。昼間働いている生徒や高校を中退した生徒、夜間中学の卒業生、若いときに学ぶ機会を逸した人、外国につながる生徒など、多様な学びのセーフティネットの役割を果たしています。立川高校定時制、小山台高校定時制の廃止計画（閉課程）を中止し、両校定時制の存続を求めます。

名 前	住 所
[Redacted Signature Area]	

*上記個人情報は、署名提出以外の目的に使用しません。

〈取扱い団体〉

***締切り8月末**

小山台高校定時制の廃校に反対する会
東京都立立川高等学校芙蓉会（定時制同窓会）
立川高校定時制の廃校に反対する会

*署名の送付先

私たちは毎年、署名を集めています。2023年は12,000筆以上を集め、都教育委員会に提出しました。今まで署名した人も、今年の署名をお願いします。

都立夜間定時制高校7校(立川、小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業)の募集停止計画の撤回を！

東京都教育委員会教育長 浜 佳葉子 様

■請願項目■

- 1 都立夜間定時制高校7校(立川、小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業)の募集停止計画を撤回すること

2024年9月25日

小山台高校定時制の廃校に反対する会
都立立川高等学校芙蓉会(定時制同窓会)
立川高校定時制の廃校に反対する会
代表 椎野彰夫(定時制同窓会副会長)

連絡先

6737筆

(オンライン署名)

6185筆

(紙の署名)

552筆





2024年秋 緊急署名 夜間定時制をつぶさないで！

都立夜間定時制高校7校(立川、小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業)の募集停止計画の撤回を！

東京都教育委員会教育長 浜 佳葉子 様

(請願項目)

都立夜間定時制高校7校(立川、小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業)の募集停止計画を撤回すること。

(請願理由)

本年(2024年)8月22日の教育委員会において、東京都教育委員会は困難を抱える生徒に対する支援の取り組みとして「都立高校におけるチャレンジサポートプラン(案)」を公表し、その中で「困難を抱える生徒の受入環境の充実」のために、立川高校、小山台高校に加えて、新たに5校の夜間定時制の生徒募集を停止にする方針を明らかにしました。

新たに募集停止の対象となったのは、桜町高校(世田谷区)、大山高校(板橋区)、北豊島工科高校(板橋区)、蔵前工科高校(台東区)、葛飾商業高校(葛飾区)の5校の夜間定時制です。

募集停止にする理由として「極端な小規模化により学習環境に課題の生じている一部の夜間定時制課程を募集停止し、生徒を適切な環境で受入れ」などといったますが、小規模校であるからこそきめ細かな教育が出来るなど、小規模校のよさについては考慮していません。

困難を抱える生徒の救済策として、困難を抱える生徒の教育を行っている夜間定時制高校の募集停止をすることは許されません。上記7校の夜間定時制高校の募集停止の撤回を求めます。

名 前	住 所
[Redacted Signature Area]	

*上記個人情報は、署名提出以外の目的に使用しません。 9月25日に署名を提出します。

〈取扱い団体〉小山台高校定時制の廃校に反対する会 東京都立立川高等学校芙蓉会(定時制同窓会)
立川高校定時制の廃校に反対する会

*署名の送付先

- ・今までの2校に加え、新たな5校の募集停止計画の公表を受け、7校の定時制募集停止計画撤回を求める署名を始めました。今までの署名をした人も、この新たな署名をお願いします。
- ・オンライン(Change.org)で署名された方は、この署名をしないでください。